

製品安全データシート SDS(GHS 対応版)  
作成日:2016年8月27日  
改訂日:2021年10月1日  
改訂内容:  
2013年7月版 国連 GHS 文書に対応  
新化管法対応/GHS 対応版に変更/環境影響の内容表記を訂正

2021年10月1日内容精査し更新

## 1. 製品及び会社情報

製品の名称: アルファウォーター:  
製品の品番:無し:pH 12.5, (pH 13.1 共通)

会社名: サンコーエーシーピー株式会社  
住所: 〒104-0033 東京都中央区新川2-2 1-15

発行連絡先: 〒272-0133 千葉県市川市行徳駅前1-5-8  
担当部門: サンコーエーシーピー株式会社 製造部門  
Tel 047-702-8215 Fax 047-702-8216

## 2. 危険有害性の要約 GHS 分類



物理化学的危険性可燃性固体 : 区分外  
自然発火性固体 : 区分外  
自己発熱性化学品 : 区分外  
水反応可燃性化学品 : 区分外  
酸化性固体 : 区分外  
  
健康に対する有害性急性毒性(経口) : 区分4  
  
皮膚腐食性・刺激性 : 区分2  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A  
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) : 区分3(気道刺激性)

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報  
飲み込むと有害(経口)  
皮膚刺激  
強い眼刺激  
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

### 【安全対策】

- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 保護手袋、呼吸用保護具、保護衣、保護眼鏡（ゴーグル）、保護面を着用すること。
- 粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。
- 屋外または換気の良い場所で使用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。

### 【救急処置】

- 飲み込んだ場合：口を水ですすぐこと。医師に連絡すること。
- 皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。(中和させる)
- 眼に入った場合、水道水で30分以上注意深く洗うこと。  
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。
- 皮膚刺激が生じた時、眼刺激が持続する時は、医師の治療を受けること。
- 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。  
飲み込んだ時、気分が悪い時は、医師の診断手当てを受けること。

### 【保管】

- 湿気、直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い冷暗所に施錠して保管すること。

### 【廃棄】

- 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

(注)物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名または一般名：アルカリイオン水（電解水：でんかいすい）

水の電解生成時に以下の化学物質を微量（0.1%）電解質として使用しているため補足として化学物質名並びにその内容を記載する。

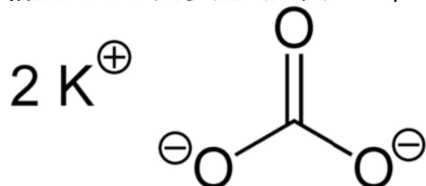
炭酸カリウム（別名）炭酸カリウム無水、  
（英名）Potassium carbonate(EINECS名称)、

成分：炭酸カリウム、化学式及び構造式：K<sub>2</sub>CO<sub>3</sub>

分子量：138.21

官報公示整理番号 化審法：(1)-153

構造式は下図参照（出典Wikipedia; ja.wikipedia.org）



安衛法：公表化学物質(化審法番号を準用)

CAS No.：584-08-7

EC No.：209-529-3

危険有害成分：炭酸カリウム

#### 4. 応急措置

- **吸入した場合**：異常を感じた時は、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- **皮膚に付着した場合**：異常を感じた時は、皮膚を流水（水道水）で洗うこと。
- 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- **目に入った場合**：異常を感じた時は、水道水などの清浄な水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに、ミネラル水、食塩水または水道水を飲むこと。
- 気分が悪い時、異常を感じた時は、医師の診断、手当てを受けること。

#### 5. 火災時の処置

- 消化剤：周辺の火災に適切な消化剤を選択し消化する。
- 特定消化方法：不燃物であるから、周囲の火災に適切な消化剤を選択し消化する。
- 消化を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具（手袋・眼鏡・マスク等）を着用する。

#### 6. 漏洩時の処置

- 人体に対する注意事項：目や口に入らないように注意して拭き取る。
- 環境に対する注意事項：濃度の高い漏出物を直接、河川や下水に流さないように注意する。
- 除去方法：吸引機等で空容器に回収する、残分は酸性液で中和する。

#### 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い技術的対策：目や口に入らないようにする。

注意事項：特になし。

安全取り扱い注意事項：特になし。

保管 適切な保管条件：日光の直射を避け、通気性の良い室内に保管する。

使用しない時は、容器を密閉する。

アルカリイオン水なので、酸性水と一緒に保管しないこと。

安全な容器包装材料：製品使用容器に順ずる。

#### 8. 暴露防止及び保護処置

設備対策：取り扱い場所は、局所排気装置又は、全体排気装置の設備が望ましい。

化学名：アルカリイオン水

管理濃度：未設定 許容濃度：0.1%（炭酸カリウム）

保護具手の保護具：アレルギー性の方は、ゴム手袋を着用する

目の保護具：極力、保護眼鏡を着用した方が良い

皮膚及び身体の保護具：長袖長ズボン（材質の特定なし）、ゴム長靴（皮膚付着 問題な

し。)

適切な衛生対策：アレルギー性の方は、取り扱い後手洗い並びに洗顔を行う。

## 9. 物理的及び化学的物質

物理的状态形状：液体

色：無色透明

臭い：無臭

PH：12.5

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲 融点(°C)：データなし。

引火点(°C)：なし。

発火点(°C)：なし。

爆発特定 爆発限界：水素ガス：空気中の爆発範囲 4.0~75.6VOL% 熱、紫外線等で爆発する恐れがある

蒸気圧(Pa)：データなし。

密度：約1.0(25°C)

溶解性 水溶解性：水に溶解。

溶媒溶解性：データなし。

## 10. 安定性及び反応性

安定性：通常の取り扱いで安定。

反応性：データなし。

危険有害な分解生生物：なし。

## 11. 有害性情報

急性毒性化学物質名：アルカリイオン水

急性毒性：なし

局所効果：データなし。

発がん性：日本産業衛生学会、ACGIH、NTP、IARのいずれにも記載なし。

変異原生：該当なし。

## 12. 環境影響情報

残留性/分解性：環境に対する影響はない。

生体蓄積性：データなし。

生態毒性 魚毒性：データなし。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：PH12.5以上の強アルカリは、特別管理産業廃棄物であるから、廃棄法に定められた基準に従うこと。

多量の水で希釈して排水溝に流す。

汚染容器・包装の廃棄：環境への影響が無いので、ゴミ分別に従って処分すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制国連分類：該当なし。

国連番号：該当なし。

輸送の特定の安全対策及び条件：「取り扱い及び保管上の注意」の記載に従うこと。

水濡れに注意すると共に、落下・衝撃等により容器を傷めて内容物を飛散させる事の無いように取り扱うこと。

酸性物との混載は避けること。

船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空法に定めるところに従うこと。

## 15. 適用法令

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR)：該当しない。

消防法：該当しない。

毒物及び劇物取締法：該当しない。

労働安全衛生法(第57条の2)：該当しない。

化学物質管理促進法：該当しない。

#### 16. その他の情報記載内容の取り扱い

全ての資料や文献を調査したわけでは無い為、情報漏れが有るかもしれません。また、新しい見地の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定時に御利用される場合には、出展等を良く検討されるか、試験によって確かめられる事をお勧めします。尚、記載のデータや評価に関しては、いかなる保障もなすものではありません。

また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものです。特殊な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。尚、この情報は新しい知見及び試験等により改訂される事があります。